# ヘルスケア施設・病院への導入事例

## ユタ州　アメリカ市民病院（American Fork Hospital in Utah）

SALTOのセキュリティシステムは全体の設備をしっかり守ります。通用口や裏口はオンラインリーダーによって外部からの侵入を防ぎ、内部では病院のスタッフが所持するバッジあるいはブレスレット式のIDとSALTOの電子エスカチオンによって出入りを厳重に管理します。
また、患者の重要なカルテが入っているキャビネットや薬剤が置かれているロッカーもSALTOのロッカー用システムによってしっかり保管ができます。

セキュリティ上で課題となっていた事柄（導入前）
・侵入者が特定できない
・薬品や麻薬が盗難に遭う
・非常時にセキュリティが保てない

SALTO導入後
・出入りする人を特定できる
・薬品や麻薬を安全に保管できる
・非常時にもセキュリティが稼働

アメリカ市民病院では、キャビネットや冷却装置や保管庫に保管されている薬品の盗難が深刻な問題となっていました。

病院で起こる犯罪のリスクの主な要因は、病院の規模の大きさや、出入りする人数が把握しづらいことが犯罪者を特定しにくくし、管理を非常に困難にさせます。

盗まれる対象の多くは医薬品や治療に使われる麻薬で、ほとんどは消耗品扱いなので、使用されたものとして盗難が報告されないままの状態にあります。

従来型のオンライン・セキュリティシステムは配線工事コストが非常に高く、電源供給停止やネットワークの断線などのシステム障害が起こってはいけない病院においては必ずしも適したシステムとは言えません。
SALTOのシステムは配線工事を極力抑えることで低コストでありながら、強固なセキュリティ性を保ち、非常時にもスタンドアロンで稼働が可能です。

【薬品化キャビネットをSaltoでアクセス制御】

入館ドアに設置されたSaltoオンラインリーダー/ライターは、ユーザーIDカードをかざすと、アクセス権限の更新と同時に、IDカードに記録されたアクセス履歴を管理コンピュータにアップロード、不正カード情報のダウンロードなどを行う。

SALTO inspiredaccess　NETWORKED LOCKS
www.anchorpoint.co.jp / www.saltosystems.com

問合せ先 info@anchorpoint.co.jp
アンカーポイント株式会社

マスター タイトルの書式設定

PDF DOWNLOAD